

大阪城6時間走練習会2020 新型コロナウイルス感染症予防対策マニュアル

【基本的な考え方】

1. 感染予防対策は練習会自体の特性と地域事情に合わせて万全臨む。
2. 感染拡大リスクのある環境(①密閉空間、②密集場所、③密接場面)を極力排除する。
3. 練習会参加に関する対応(選手、スタッフ、ボランティアの検温及び事前調査)の徹底。
4. 開催しても開催中止になってもどちらもリスクがあることを理解、その都度毎柔軟に対応する。

【練習会規模】

選手 最大100名 大会スタッフ 4名

【練習会前日までの作業及び周知】

1. 組織対応

1) 感染症予防対策本部の設置

[対策本部(SPORTSAID)]山田(実行委員長)

※緊急時の決定を下すための対策本部を設置する。多方面からの判断で開催の可否、中断の決定をする。
これは、大会の開催前から終了後まで機能する。

2) 感染予防対策としての準備物品

ランニング用マスク(300枚)、アルコール液(500ml×4)、フェイスシールド(5個)、
イソジンガーグル(ポピドンヨード)×4本、使い捨てゴム手袋(100枚)、
非接触型体温計(4個)、注意喚起看板、注意喚起チラシ

2. スタッフへの対応

1) 健康管理について

事前健康チェック及び当日健康チェックを記入し、参加同意書にサインし提出。

・事前健康チェックシート/当日健康チェックシートの提出

(体温、咳、痰、鼻汁、咽頭痛、息苦しさ、倦怠感、味覚異常・嗅覚異常の有無、近親者に左記の症状がないかなど)

2) 感染予防についての事前周知

－1. 普段から「密閉」「密集」「密接」を避け、こまめな手洗い・うがい、咳エチケットに気をつけ健康維持に努めること。大会会場でも同様の行動に協力すること。

－2. 参加時の移動(行き帰り)は密集・密接を避けるように注意喚起する。

－3. 以下の事項に該当する場合は、参加を自主的に見合わせること。

ア 体調がよくない場合(例:発熱・咳・鼻汁・咽頭痛・息苦しさ・倦怠感・味覚異常・嗅覚異常などの症状がある)

イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる

ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある

エ 基礎疾患(特に肺疾患、心疾患、高血圧、糖尿病など)のある方は、参加を自主的に控える。

3) 大阪コロナ追跡システム利用のお願い(QRコード取得)

不特定多数の人が集まる施設やイベントを通じた感染拡大を防ぐことを目的に大阪府が作成したシステム。

4) 新型コロナウイルス接触確認アプリココア(COCA)利用のお願い

厚生労働省が管轄しているアプリで、COVID-19 Contact Confirming Applicationを略してCOCA

3. 参加選手への対応

1)健康管理について

事前健康チェック及び当日健康チェックを記入し、練習会参加同意書にサインしWeb提出することとする。

・事前健康チェックシート(体温、咳、痰、鼻汁、咽頭痛、息苦しさ、倦怠感、食欲低下、味覚異常・嗅覚異常の有無、近親者に左記の症状がないかなど)をWeb提出すること。

2)感染予防についての事前周知

「選手のおしり」での案内に際しては、以下の項目を追記し周知することとする。

・感染拡大予防のために参加者に厳守(協力)事項を記載する。

※厳守できない場合は、他の参加者の安全を確保する等の観点から、大会への参加を認めない、または、途中退場を求めることがある。

- 1. 普段から「密閉」「密集」「密接」を避け、こまめな手洗い・うがい、咳エチケットに気をつけ健康維持に努める
大阪城公園でも同様の行動に協力すること。
- 2. 参加時の移動(行き帰り)は密集・密接を避けるように注意喚起する。
- 3. 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせることを周知する。
 - ア 体調がよくない場合(例:発熱・咳・鼻汁・咽頭痛・息苦しさ・倦怠感・味覚異常・嗅覚異常などの症状がある)
 - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
 - ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。
 - エ 基礎疾患(特に肺疾患、心疾患、高血圧、糖尿病など)のある方、自らが感染した場合重症化する割合が高いため、自主的に参加を見合わせる。
- 4. マスクの常時着用(歩行時、会話時のマスクの着用。6時間走専用ランニング用マスクの配布する)
- 5. 対人距離※ソーシャルディスタンス(できるだけ2m以上)を確保すること。
(障がい者の誘導や介助を除く。)
- 6. 6時間走練習会中は必ずマスクを着用すること。(ランニング中においては各自の判断で着用)
- 7. 行動記録の推奨
大会前後2週間の出向いた場所、同行者について、特に人混みに入る場合だけでも可能な範囲で記録しておくことを推奨。
- 8. 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告すると共に濃厚接触者の有無等についても報告すること。

3)説明会、セレモニーについて

説明会、開会式、表彰式、閉会式などのセレモニーは中止とする。

また、練習会終了後、速やかな帰宅を推奨する。

4)練習会の中止(延期)になった場合の対応について

facebook等にて速やかに告知する。

※エントリーのキャンセル時の返金等について参加選手の不安、不満解消に努める。

5)大阪コロナ追跡システム利用のお願い(QRコード取得)

不特定多数の人が集まる施設やイベントを通じた感染拡大を防ぐことを目的に大阪府が作成したシステム。

6)新型コロナウイルス接触確認アプリココア(COCOA)利用のお願い

厚生労働省が管轄しているアプリで、COVID-19 Contact Confirming Applicationを略してCOCOA

【練習会当日の作業】

4. スタッフの対応

- 1)公園内において、マスクを各自で準備し着用する。各自で準備した手指消毒液を携帯する。
頻回の手洗いおよび手指消毒の推奨。
(必要に応じて選手、スタッフに対して体温測定を行い、体温が37.5℃以上の場合は本部に報告。)
- 2)受付及びミーティング時の密を避ける。
 - 1. ミーティング内容の事前周知でミーティングは極力行わない。
 - 2. 受付は事務局にて行う(大阪城公園より徒歩2分)
- 3)スタッフのドレスコード
 - 1. 集合受付時では健康チェック、検温、各自で準備したマスク着用・アルコール手指消毒液の携帯。
 - 2. 場所毎にマスク・フェイスシールド・ゴム手袋を適宜着用する。
- 4)テーブルを定期的にアルコール消毒する。

5. 当日準備及び作業

[1]当日選手受付 ※受付は各自で名簿をチェックする

選手)3密を避ける

- 1. 検温
参加者受付で非接触型体温計にて検温し、37.5℃以上の者には練習会に参加できない事を伝える。
(徹底管理すること) 発熱が分かった場合、本部に報告する。
選手およびスタッフの連絡先を把握しておく。
- 2. マスク着用、手指アルコール消毒の協力をお願いする。
- 3. 密を避ける方法
選手の滞留を防ぐために出来ることを検討し、可能な限り簡素化する。
エイドテーブルの増設とテーブル間を開けて設置する。
提出物(健康チェックシート)はネットで確認する。
- 4. 健康チェックシートをWebで確認。管理方法について可能な限り簡素化する。
 - ① 氏名、年齢、住所、連絡先(電話番号)※個人情報の取扱いに十分注意する。
 - ② 練習会当日の体温
 - ③ 練習会前2週間における以下の事項の有無
 - ア 平熱を超える発熱(概ね37.5度以上)
 - イ 咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状
 - ウ だるさ(倦怠(けんたい)感)、息苦しさ(呼吸困難)
 - エ 嗅覚や味覚の異常
 - オ 体が重く感じる、疲れやすい等
 - カ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - キ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ク 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

[2]エイド

- 1. スタッフはマスク・フェイスシールド・ゴム手袋の着用と手指消毒液を携帯する。
- 2. エイドの提供はセルフ方式とする。
スタッフからの手渡しは避け、参加者へのサポートは減らす。飲料の提供はペットボトルや使い捨ての紙コップで提供。
ボトル・紙コップの回収方法を選手に事前周知し遵守してもらう。
- 3. エリアのスペースを延長する。(テーブルの増設)

[3]更衣室 3密を避ける為、今回は用意しない

[4]荷物預かり 3密を避けるため今回は荷物預かりしない
荷物は各自で管理する。貴重品は持ってこないように指導する。

[5]メディカル体制の準備

- 1. 地域の保健所や受入医療機関の体制確認。
- 2. マスク、ゴム手袋、フェイスシールドを全救護対応について着用する。
- 3. 救護対応時必要に応じて防護服(代用品のカツパ)を使用する。
- 5. 感染が疑わしいケースへの対応策の準備。
- 6. 濃厚接触となる心肺蘇生等の処置発生の際は、救護症例のその後の経過把握を搬送医療機関に依頼し、救護症例がPCR検査で陽性となった場合など情報の提供や把握に努める。
救護対応の担当者名の記録を症例ごとに残すようにする。
- 7. 保険に加入する。

【症状や、濃厚接触者となって相談があった場合(電話、メール等)】

- 1)大阪城公園に来場前であれば参加は控えていただく。
- 2)帰国者・接触者相談センター、保健所へ連絡し、指示に従うように依頼する。
その際に連絡先等の確認をし、選手であれば返金や参加賞の発送などの手続きについて説明する。
※帰国者・接触者相談センター(厚生労働省)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/covid19-kikokusyasessyokusya.html
- 3)スタッフ全員で情報を共有し、その後の対応について協議する。情報共有のタイミングは感染を疑う者から相談を受けた時点とし、その後適宜情報共有する。

【感染を疑う者が直接大会事務局を訪ねてきた場合もしくは公園入口で発熱が判明した場合】

隔離対策の準備

- 1)体温測定を実施する。
37.5℃以上のものは、別エリアにて再測定を実施する。
再測定、問診対応者はマスク、フェイスシールド、ゴム手袋、防護服を着用すること。
再測定でも37.5℃以上の者は参加を認めない、近隣の相談センターへ相談してもらうか、かかりつけ医院の受診を勧める。
- 2)詳細な問診も併せて実施し、保管しておく。
- 3)相談の結果、当日受診の際、同行者がいるようなら同行者に感染対策を実施して付き添ってもらおう。
単独来場でも自分の車がある場合は自分で受診可能な体調であれば自分で受診していただく。
同行する場合は別車両で同行する。公共交通機関の使用などの来場の場合は行政に相談の上、専用車両が手配可能ならそれを使用する。
- 4)練習会終了後2週間程度の経過時に連絡をし、体調確認を実施することと、連絡先を本人に手渡す。
- 5)練習会事務局からおおむね2週間後にメール、電話等で体調確認を実施する。

6. その他の留意事項

- 1. 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意し、練習会当日に参加者より提出を求めた書面(事前健康チェック、または当日健康チェック)について、1ヶ月の保存期間を定める。
- 2. 練習会終了後に、参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、開催自治体の衛生部局と予め検討しておくことが必要。
- 3. 全参加者とスタッフに発症があった場合には必ず事務局に連絡をするよう周知する。
- 4. 練習会終了後2週間以内に発症連絡があった場合本人のリザルト情報から同時練習者等がわかるように抽出することが望ましい。また、本人の同意のもと対応行政機関、保健所等に接触者などの情報提供をする。
- 5. 練習会の全時間を通しての対応記録等については電子データ化し関係機関に提供できるようにしておく。大会終了後にPCR検査陽性者が発生した場合は行政関係機関と調整をし、情報の共有を図り感染拡大防止のために協力をする。

7. 広報、周知

感染症拡大予防策を講じながら練習会を開催するためには、練習会に集う全ての人に協力を求め、丁寧に各局面のスムーズな遂行が必要である。

また、周辺住民の理解と協力が得られるよう努める。

- 1)本練習会での感染症拡大予防策(運営方法)を周知する。
エイド、コース沿道に看板を設置、手持ち看板等で周知に努める。
- 2)感染症拡大予防策をfacebook、SNS等で周知する。

8. 資機材対応

1)エイド設営

- ・ 設置間隔を充分にとるように配慮する。
テーブルの消毒を定期的実施する。
- ・ 更衣テントは作らない。

2)トイレについて(公園の公衆トイレのため事務局からの要望とする)

密にならないように使用を計画する。利用者列の間隔を明示するように要望する。

手洗い場、もしくはアルコール消毒液を設置を要望する

マイタオルの持参を推奨する。

定期的に消毒剤、界面活性剤によるドアノブなどの清掃を管理事務所に要望する

2)消毒剤、衛生資材、安全対策資材の配置計画 (エイドテーブル 受付)

- ・ エイドテーブルに衛生用品の(マスク、アルコール消毒液(濃度70%)、ペーパータオル・ゴム手袋、体温計等)配置計画を作成し、必要量を準備する。
- ・ 参加者との接近接触を伴う配置のスタッフへ、フェイスシールド・ゴム手袋を必要量準備する。
非接触式体温計を導入する。必要であれば、エイドテーブルにサーモグラフィーシステムを設置し全員に検温を実施する。

3)感染症拡大予防への協力と注意喚起看板設置と配置計画

- ・ 基本的注意項目、整列案内、手洗い方法の掲示案内、「20秒間石けんで…」など。
- ・ 大阪城公園内での周知。

※参考資料

(参考1)首相官邸『新型コロナウイルスお役立ち情報』

https://www.kantei.go.jp/jp/pages/coronavirus_info.html

(参考2)厚生労働省『新型コロナウイルス感染症について』

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

(参考3)厚生労働省『新型コロナウイルス感染症についての相談・受診の目安について』

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000596978.pdf>

(参考4)JAAF 日本陸連【競技会開催について】

https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202006/11_151442.pdf

(参考5)JAAF 日本陸連【大会前:提出用】体調管理表・症状チェック表

https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202006/11_151501.pdf

(参考6)JAAF 日本陸連【競技会開催の基本情報と前提条件の確認】

https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202006/11_151451.pdf